

健康・医療新産業協議会 第2回健康投資WG 資料

令和3年3月11日
スポーツ庁

スポーツを通じた健康で活力ある社会の実現

- スポーツを行うことが生活習慣の一部となることを目指す「Sport in Lifeプロジェクト」において、企業、地方自治体、スポーツ団体、経済団体等で構成する**コンソーシアム**を設置
- スポーツ参加人口拡大に向けた取組**モデル創出のための実証事業等**を、コンソーシアム加盟団体等で構成するプロジェクトチームにて実施（全21事業）
- 社員のスポーツを通じた健康増進に向けた積極的な取組を行っている加盟団体を、「**スポーツエールカンパニー2021**」として認定（623団体）

【Sport in Lifeプロジェクト】 Sport in Life

◆Sport in Life コンソーシアム（加盟数1089団体、令和3年2月19日現在）

- 本プロジェクトの趣旨に賛同するスポーツ団体、地方自治体、企業等から構成されるプラットフォーム。事例発信や情報共有を行い、加盟団体間の連携した取組を創出。
- 中央幹事会にて、スポーツ実施率の向上に向けた課題の整理や民間の知見を活かした効果的な連携施策などを検討し、コンソーシアムの活動方針などを示す。
- 加盟団体を対象としたアンケート調査では、今後コンソーシアムに期待することとして、他団体との情報共有・連携に関することが、多く寄せられた。

◆スポーツ参加人口拡大に向けた取組モデル創出

①スポーツ実施を阻害する課題解決のための実証実験(900万円程度×11事業)

【例】障がいのあるビジネスパーソンを対象とした運動習慣形成モデル事業

課題

- ①障害者の自発的行動の困難性と社会参画・対人コミュニケーションのハードル
- ②障害者がスポーツを実施できる環境の不足と支援人材の不足

茨城県内の障害者就労支援A型6施設の就労者150名の運動・スポーツ参加機会の提供を目的として

運動プログラム サポーターの養成	オンラインレッスン 導入	事業所での 運動プログラムの提供	スポーツコミュニティ 活動実施
茨城県民球団及び障害者 事務所職員が参加	就業時間内にオンラインで のグループレッスンを実施	朝礼時のウォーミングアップ 就労中のストレッチ運動等 茨城県民球団選手も参加	運動に慣れてきたら、少人数 プログラム、さらに、集団ス ポーツイベントを実施



運動プログラム



選手参加



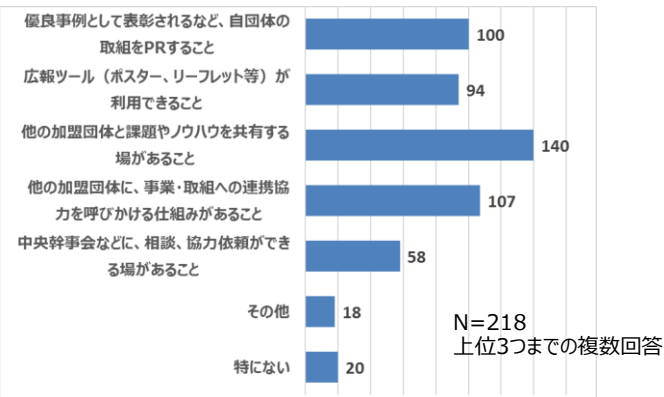
選手参加

受託者：(株)茨城県民球団
(株)茨城ブレイズ福祉センター、(株)ルネサンス

加盟団体内訳 (R3.2.19)

- スポーツ団体：189
- 地方自治体等：47
- 学校関係団体：34
- 医療福祉団体：55
- 企業：730
- 経済団体：5
- その他団体：44

【今後Sport in Lifeコンソーシアムに期待すること】



②ターゲット横断的なスポーツ実施者の増加方策事業(450万円程度×10事業)

スポーツ×○○○のような、異分野との融合などにより、スポーツ実施者の増加に向けた事業

【例】リアルとデジタル双方でのスポーツ体験を通じた、スポーツ実施者増加事業

内容

ショッピングモールを活用したリアル環境でのスポーツ体験イベントによるスポーツを好きになるきっかけ作りと、WEBサイトやアプリを活用した映像配信による、自宅を中心とした環境でのスポーツ体験を組み合わせ提供



スポーツを通じた健康で活力ある社会の実現

【スポーツエールカンパニー2021】

- 「働き盛り世代」のスポーツの実施を促進し、スポーツに対する社会的機運の醸成を図ることを目的として、**従業員の健康増進のためにスポーツの実施に向けた積極的な取組**を行っている企業を「**スポーツエールカンパニー2021**」として、**623社**認定（平成29年度217社、平成30年度347社、令和元年度533社）

https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/houdou/jsa_00064.html

- 令和2年度からは、Sport in Lifeコンソーシアム加盟団体を対象とした認定制度として実施



【認定企業の取組例】

◆出光興産株式会社北海道製油所

●健康増進活動の推進によるスポーツ実施の促進

- ✓ 令和元年より「北製スマートライフキャンペーン」と名付けた健康増進活動を開始。健康管理アプリの活用を推奨するとともに、外部機関の専門家によるコーチングを受ける環境を設けて運動の習慣付けを図り、著しい取組や成果を果たした従業員を所長から表彰



キャンペーン優秀者表彰

●退勤時のスポーツ実施機会の提供

- ✓ 社有の通勤バス利用者に対して、退勤時に最寄りの手前で降りて歩く「退勤ウォーキング」を推奨し、実施者には運動靴の履用を容認
- ✓ 令和2年より「プレミアムフライデー」をトライアル導入、毎週金曜日にはフレックスタイムの活用とともに、ジョギング、ウォーキングでの通勤やスポーツジム等へ直行する従業員にジャージ、運動靴での通勤を容認



退勤ウォーキング大会

◆ソフトバンク株式会社

●朝の時間を有効活用！朝ヨガ講座のZOOM配信

- ✓ ヨガインストラクターの有資格者社員による「朝ヨガ」を月1開催。社員が講師となることで、社員がより身近に感じ運動化のきっかけとなった
- ✓ 2020年度からはZOOM配信となり、全国の社員が参加可能となった



朝ヨガ講座（本社▲Zoom▼）

●社員が出演！すき間時間でながら運動動画配信

- ✓ 社内公募による有志で集まった社員が出演する、「日常生活でできる【ながら運動】動画」を配信。社員を巻き込むことで、注目度をアップさせ、運動の習慣化を広くアピールしている
- ✓ 字幕付動画のため、音声を聞かなくてもストレッチが簡単にできる。（聴覚に障害がある社員も閲覧可能）また、手順をイントラネットサイト上でも紹介



◆公益財団法人明治安田厚生事業団

●朝活／昼活／夕活－職場をまるごと活動的に

- ✓ 朝活…1回約3分のスローエアロビク、1日1種目の今日のアップ体操
- ✓ 昼活…職場内のフィットネスルームの活用、ランチタイムウォークの実施
- ✓ 夕活…職場内のコートでのテニスや周辺のジョギング、坂ダッシュ



●座りっぱなしブレイク サイコロでPON！

- ✓ 座りっぱなしになりがちな会議中のブレイクのため、職員の声掛けで不意に始まるエクササイズタイムを導入
- ✓ サイコロを振って『本日のエクササイズ』を決め、上司も部下も全員参加で一緒になってリフレッシュ



◆東芝ライテック株式会社

●FUN+WALK」バーチャルウォーク日本縦断

- ✓ 社内の区内拠点（42カ所）を北海道から沖縄までバーチャルウォークして歩数を競うイベントを通年で実施
- ✓ 全5,500Kmをバーチャルで練り歩き、各拠点で事業所紹介や周辺観光・ご当地グルメ情報を作成、到着時に閲覧できるよう工夫
- ✓ イン트라ネット上に毎週の歩数上位200名、20組織を公表して、自分の歩数と比較できるようにした。歩いた距離や完歩エリアによりポイントを付与し、健康増進グッズ（運動量計や体組成計等）との交換ができるインセンティブも準備
- ✓ 毎週1回、7日間の歩数を自分で手入力することで、運動不足等に自ら気付き、自発的に運動増進行動を起こすきっかけを提供

